





2021年7月21日

セントラル警備保障株式会社 住友商事マシネックス株式会社 株式会社 Liberaware

ドローンを活用した屋内設備点検・監視巡回サービス事業展開について

セントラル警備保障株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:澤本尚志、以下「CSPI)と 住友商事マシネックス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:佐橋明三、以下「SMX」) と株式会社 Liberaware(本社:千葉県千葉市、代表者名 閔弘圭、以下「Liberaware」)は、小型 ドローンを活用した設備点検・監視巡回サービスを三社協業で開始します。人が行っているルーティンワークを ドローンで代替、点検・監視作業の省力化・省人化、セキュリティ、安全性向上を提供します。

1. サービスの概要

非 GPS 環境下の建屋内、狭所・高所や暗所など危険性の高い場所、作業時に足場などが必要となる設 備点検において、世界でも指折りの産業用の狭小空間特化型純国産ドローンによる撮影画像を提供する ことにより、安全性や牛産性向上に寄与するサービスを推進します。操縦型小型ドローンによる点検箇所の 撮影や空間計測サービスを行うほか、今後、決められた時間に決められたルートを巡回飛行し、設備点検 や監視業務を自動で実施できる自動巡回型ドローンサービスを開発し、提供していく予定です。また、オプ ションで動画データを解析・編集し、複数の動画をつなぎ合わせて 3D 化や点群化、オルソ画像化も実施し ます。

2. ターゲットとするエリア

天井裏、地下ピット、煙突内部、配管タンク内部、ボイラー内部などのインフラ・プラント点検や、データセン ター監視、施丁進捗管理、計器監視、物流倉庫内の棚卸などを想定しています。

3. 各社の役割

CSP

設備点検用ドローンの運営を全面的に請け負い、自社のドローンパイロットを育成し保有します。今後、 自動巡回型ドローンを活用した警備用巡回ドローンを共同開発し、自社警備先の巡回警備の自動化 を推進するとともに、警備用巡回ドローンのレンタルサービスの開始と Liberaware 社への資本参加を予 定しています。 CSP は従来より、ドローン機器やアンチドローン機器の販売に力を入れており、本事業の立 ち上げとともに社内にドローン事業専門の組織を発足し、ドローン事業の拡大を図ります。

SMX

製造業をはじめとした、建設・通信・物流等多岐に渡る顧客基盤に加え、住友商事グループの顧客リソ -スを活用し営業展開を図って参ります。多くの製造現場・産業分野の各現場で未だに少人化・効率 化等、デジタル技術導入が進んでいない状況下で、「テクノロジーへのアクセス、共創のイニシアティブ」を 2030 年ビジョンに掲げ、ドローンサービスの提供に加え、全社で取り扱う商材・サービスを組合せ、エンド ユーザーへのイノベーティブな価値を提供して参ります。

Liberaware

屋内専用ドローンに特化したメーカーとして狭小空間特化型純国産ドローン「IBIS」を開発、既に製鉄会社や電力会社、石油化学コンビナート等の大型プラント設備を保有する企業を中心に、煙突内、配管内、ボイラー内などの点検を実施しています。今回の協業により「IBIS」の普及、業容拡大を図ります。

4.《狭小空間特化型ドローン「IBIS」について》

	操縦型 IBIS	自動巡回型 IBIS
サイズ	191×179×54mm	450 X 200 X 120mm
	(プロペラガード込み)	(プロペラガード込み)
重量	185g(バッテリ込み)	開発中
主要装備	LED 照明、防塵モーター、超高	自動充電装置、LED 証明、超
	感度カメラ 他	高感度カメラ、管制システム 他
機能·特徴	狭小空間で低速で安定飛行す	自動航行、衝突回避、リアルタイ
	ることによる鮮明な画像を取得	ム映像伝送、遠隔操作





■ この資料に関する問い合わせ先 【セントラル警備保障株式会社】 広報部 Tel 03-3344-8747 【住友商事マシネックス株式会社】 人事総務部 Tel 03-4531-3902 【株式会社 Liberaware】 Tel 043-497-5740



超高感度カメラ

ソニーのSTARVISを搭載 肉眼では見ることができな い暗闇の世界を鮮明に撮影

重量

185g(バッテリー込) 航空法規制対象外のカテ ゴリー

サイズ

191×179×54mm (プロペラガード込み)

モーター

日本電産と共同開発した 密閉型の防塵モーター 粉塵の多いタフな環境も 安定して飛行

日本製

筐体やモーター、プロペラ、 カメラ等はもちろん、フラ イトコントローラーまで Liberawareが日本で製造











オルソ画像
壁面4面をそれぞれ1枚のオルソ画像に、1mm程度のクラックははっきりと確認できる。位置も特定しやすいので、経年変化を比較しやすくなった。

頂上部からドローンを投入し、4面の壁面を撮影。



大型商業施設のリニューアル工事にともない、人が 進入できない天井裏の様子をドローンで確認。形状 や損傷具合、資機材の有無などを調査した。



点群データ

点群データを生成。 スケール情報があるため、図面起こしにも役立つ。



巨大かつ足元が悪い施設のため、足場の架設には多額の費用が発生する施設の壁面をIBISで調査。大きなクラックやコンクリートの剥離等を点検。



